

## 第 5 回第 2 期下野市地域福祉計画及び活動計画策定委員会 議事録【要旨】

- 開催日時 平成 29 年 3 月 23 日（木） 14：00～15：00
- 開催場所 下野市役所 303 会議室
- 出席者 林委員長、川俣副委員長、滝澤委員、軽部委員、佐藤委員、伊澤委員、山田委員、金島委員、鱒淵委員、岡委員、青柳委員、海老原委員、平出委員、梶井委員、石嶋委員、藤沢委員、長谷川委員、鶴見委員、曾我委員（計 19 名）
- 欠席者 百武委員、津野田委員（計 2 名）
- 事務局 下野市：山中社会福祉課長、伊澤グループリーダー、渡辺主幹、市村主事  
下野市社会福祉協議会：蓬田事務局長、角田総務課長、小林地域福祉課長、

1. 開会 (事務局)
2. あいさつ (林委員長)
3. 議題

### (1) パブリックコメントの結果について

委員長 今回の議事録の署名は岡委員と海老原委員をお願いします。  
では、議題（1）パブリックコメントの結果について、事務局は説明をお願いします。

事務局 (資料 1 「第 2 期下野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画に関するパブリックコメントの結果について」を説明)

委員長 ありがとうございます。この回答はどのようにしますか。

事務局 手続き上、直接回答はしないことになっています。本日承認いただいたのち公開し、また計画案の修正をもって、回答とします。

委員長 非常に鋭い指摘もありました。この内容についてご意見等ございますか。

No.9 の自治医科大学に関する意見がありますが、現時点で何か関わりはあるのでしょうか。

事務局 現時点では、具体的取組の中に関連した取組はありません。

副委員長 今日、初めて見た資料なので、どうしてこのような回答になったのかなど、項目毎に説明していただけないでしょうか。

事務局 (資料 1 の内容を詳細説明)

委員長 ご質問はございますか。

No.7 のご意見で、障がい福祉サービスについて記述がないとありますが、この計画は個別計画の上位計画として互助活動を推進する計画の位置付けなので、私もこのような回答でご理解いただければと思います。関心のある市民の方から鋭くいろいろとご指摘いただきましたので、次期以降の検討すべき課題になると思います。

他になければパブリックコメントについては、このような対応をお願いします。

続いて議題（2）計画のタイトルについて、に進みます。

(2) 計画のタイトルについて

委員長 下野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画をもっと分かりやすく示す愛称を皆さんから18個出していただきました。この中から一つ決めるのが本日の委員会の作業ということとなります。

内容を見てみると、「下野」と「下野市」、「しもつけ」と「下野」、「～プラン」とそうでないもの、という特徴があります。活動の動が、「働」になった12番目の案もあります。それぞれ提案者のご意見があると思いますが、どうでしょうか。事務局との話では、予め3つくらいに絞ってということもありましたが、絞った理由を説明できなければいけませんのでそのまますべてを提案することになりました。

滝澤委員 案は様々で、この中から選ぶのも大変ですね。一人ひとりが○をつけるのはどうでしょうか。

委員長 投票ですか。一人が複数の○をつけないと、あまり差がつかないかもしれませんね。

鶴見委員 初めに一人3票を入れて、5つくらいに絞って決戦投票で決めるのはどうでしょうか。

委員長 出された案の組み合わせというものは出ないでしょうか。例えば1番の「下野」をひらがなにするとか。

山田委員 委員長に一任でも。

委員長 そうもいきませんが。

梶井委員長 「しもつけ」というと農協だと栃木市方面を指しますし、下野を入れるのなら「市」を加えて下野市としていただいたほうがいいと思います。

岡委員 自分たちがしなければいけないという気持ちを込めるために「みんな」や「私たちの」という言葉が入るといいと思います。

委員長 組み合わせで新しいものができそうですね。

「プラン」とついていない13番以降のものはスローガンとしてはいいのですが、愛称としてはどうでしょうか。

鶴見委員 「プラン」はついていたほうがいいですね。

佐藤委員 下野市の福祉計画ということが分かるものがいいと思います。

委員長 「市」、「福祉」、「みんな」、「プラン」がキーワードですね。

滝澤委員 それらがうまく、コンパクトにつながればいいですね。

海老原委員 6番の「下野市みんなで築く地域の絆プラン」がいいのではないのでしょうか。

滝澤委員 「福祉」がないですが。

委員長 「地域の絆」がそれに相当するものになりますね。すこし長い感じはしますが。

滝澤委員 絆を安心・安全に変えるというのは。

佐藤委員 事務局案はあるのですか。

委員長 事務局でも検討しましたが、みんなで決めたいということがありました。

滝澤委員 6番は確かにいいですね。

委員長 短くするために「地域の」をとって、「下野市みんなで築く『絆』プラン」というのはどうでしょうか。

滝澤委員 事務局から何点か出してもらって、その中から選べればいいですが。

委員長 他の地域では安心、やさしさ、といったものが多いので、ちょっと違います。

滝澤委員 震災のあと、絆という言葉が特に謳われていますから、いいですね。

委員長 反対意見はありませんか。

山田委員 老人クラブからのお願いですが、今まで集まりの度に地域福祉を頭につけて計画の話をしてきていますので、あまり難しくてもいいものはやめていただければと思います。

委員長 「地域福祉計画」、「地域福祉活動計画」は正式名称としてありますが、具体的にはどういうことでしょうか。愛称はなくてもいいということでしょうか。

山田委員 愛称はあっていいのですが、あまりかけ離れたものでないよう、実践する側の気持ちも考えていただければということです。

委員長 計画書の4ページには、市のいろいろな計画の愛称が書いてあります。この計画そのものは、第2期下野市地域福祉計画、第2期下野市地域福祉活動計画ですが、概要版が配られた時に、表紙に「下野市みんなで築く『絆』プラン」とあったほうが、なにかなということで市民の方が手にとっていただけないかということですが。

鶴見委員 「地域の」を外した案がいいのですが、築くの「きず」と絆の「きず」が続くので、そこはどうかなと思います。

委員長 あまりきれいではないですね。

岡委員 みんなで「作る」とか、「育む」としたらどうでしょうか。

軽部委員 愛称としてはいいけれど、中身はなんなんだということにはなりませんか。

委員長 「絆プラン」というのは、人のつながりを作ることとわかりやすいと思います。

滝澤委員 問題は「きずく」「きずな」というところですか。

委員長 「きず」という音が同じということですね。みんなで「育む」はひらがなですか。

岡委員 どちらでも。ひらがなのほうが読みやすいですね。

鶴見委員 意味は漢字のほうがとやすいですね。

委員長 長さ的にも漢字のほうがいいですね。

軽部委員 分かりやすいのは漢字で、読みやすいのはひらがなですね。

委員長 どうでしょうか。最初は3つくらいで投票すればという話でしたが、ほかのものでつなぐということはないでしょうか。「絆プラン」はいいけれど、築いたり作ったりするのは、「プラン」ではなく地域の絆だから、「地域の」という言葉は大事ですね。

鶴見委員 日本人にすんなりと入るのは575調ですね。

委員長 青柳さんはいかがでしょう。

青柳委員 「幸せ絆プラン」というのを考えていました。

委員長 「下野市 幸せ絆プラン」ですか。

副委員長 「下野市 みんなの福祉 地域の絆プラン」というのはどうでしょうか。

滝澤委員 6番の原案そのものがいちばんいいのではないのでしょうか。あとは、築くを、作るか育むに変えるかどうかですね。

委員長 直さないということも一案ですね。

鶴見委員 「地域の」が間に入れば、しつこさは薄れますね。

委員長 6番の原案そのものということですが、いかがでしょうか。  
(異議なし)

では、これで決定です。地域同士のつながりを深めていく、地域の福祉の気持ちを作っていくという意味を込めて、「下野市みんなで築く 地域の福祉プラン」という愛称でこの計画を発表し、5年間推進していただきます。委員の皆さんにも策定委員として、地域のつながりの強い下野市を作るのにご協力いただければと思います。

本日の議題は以上です。では、4. その他 について、事務局お願いします。

#### 4. その他

事務局

2点連絡させていただきます。

1点目は今後の予定ですが、計画を印刷し、概要版は各戸配布させていただきます。現時点の概要版の案を配布しますが、これに本日決まりました愛称を追加して印刷します。概要版は本編を抜粋したのですが、これを各戸配布するとともに、新たに市に転入されてきた方々にもお渡しする予定です。

2点目は、今年度で1次計画が終了しますので、平成29年度は現計画の評価と第2次計画の進捗管理のために、推進委員会を開催したいと思っています。この委員さんの中から推進委員さんを委嘱させていただきますので、ご協力をお願いします。

委員長

概要版はカラーですか。

事務局

計画本編は白黒ですが、概要版はカラーです。

委員長

今回で委員会は最後ですが、これから推進委員会が作られて計画の推進状況の評価が行われます。また、5年後には第3期計画が作られると思いますが、絆プランの実行を見守りたいと思います。委員の皆さんから他にありますか。

長谷川委員

パブコメで3名の方の意見が書かれ、それに対する回答を頂きました。これまでの委員会の議事録は頂いていますが、議事録で書かれたことに対して、それがどうなったのかということをもとめて、この委員会の有効性評価につなげられたらいいのではないかと思います。

もう1点は、今回の計画策定プロセスの中で、例えば42ページの基本理念の中に、「人や企業に選ばれる」「外部の人に注目される」という記述がありますが、この計画を作るのにあたって、されていたのかもしれませんが、他市や他県をリサーチし彼我の差を比較し、良いところ取りをして計画に反映されればいいと思います。

委員長

今回は、行政計画と民間計画を一体化するという大きな目的がありました。ここに大きな意義があり、そのプロセスの中で、既に一体化されているところの先進地の計画を見て、事務局は、異なる評価のレベルやプロセス、数値目標などについて、一体化するためにいろいろと検討をしてきました。

最近是我们が何をすべきか、という視点から「社協がすること」と「市民がすること」を分けますが、それを「市が」どう支えるかという3つを一つにまとめられたということが今回一番大きく、それがある程度見えてきたということは評価できると思います。この一体化はこれから全国に広がると思いますが、先行モデルがあまりないこともあり、言葉が少し抽象的になったと感じています。ただ、これから社会福祉法が改正され、地域福祉計画は各個別計画の上位計画に位置付けることとなりますが、今回の下野市の計画はそれを先取りしており、その意味で先駆的な内容になっています。

委員がおっしゃるように、この計画に基づいて地域を作ったら、他からどのように選ばれ、地域がどう育っていくのかということの有意差は比較できていません。今回の計画は、事務局が主導して草案を書きながら作成していきましたが、今年度はパブコメまで終了したので、できれば議事録に対して内容がどう変わったかという検証も残しながら終わっていただきたいと思います。これをみんなが作った計画とするためにどうしたらいいか、次の計画を作るときや中間評価をするときにまとめていただきたいと思います。市民に汗をかいていただかなければなりません、下野

市を良くするために、もう少しご協力いただければと思います。

策定プロセスの中では、見えないところで、事務局が主導して文章を考えてきました。座談会でも、公募委員の方に出席いただきましたが、地域全体の声としては一部だったと思います。そうしたこともあります、3者の取組が一本に載ったということも宝物として、使っていただきたいなと思います。

岡委員 3者の取組が一体化したということの説明が、概要版にないように思ったのですが、それでよいのでしょうか。

委員長 記載を何か工夫しましょうか。概要版はこれからまだ変更されますよね。

事務局 事務局として、貴重な御意見を承りました。概要版を修正いたします。

伊澤委員 市と社会福祉協議会が協力して作ったということも、市長さんのごあいさつの中に入れていただければいいのではないのでしょうか。

委員長 市長さんの言葉に、市民の取り組みと、それを支える行政の役割を一体化したということを書くということですね。

それでは、他にご意見がなければ、最後の委員会を終わりにしたいと思います。不慣れで十分なことはできませんでしたが、成案を得たということで、議長並びに委員長の座を降ろさせていただきます。皆さん協力ありがとうございました。

## 5. 閉会

(事務局)

議事録署名人 岡 麻紀子

議事録署名人 海老原新子